

開催報告 長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞

長崎大学は、平成 28 年度に優れた研究成果を挙げた本学の若手女性研究者を学長より顕彰する「長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞」を創設しました。

これは、優れた研究結果を挙げた長崎大学の若手女性研究者を顕彰することによって、研究意欲を高め、学術研究の将来を担う優秀な女性研究者の育成及び男女共同参画の促進を目的としています。今年度より、博士課程及び博士後期課程の女性院生を対象とした次世代女性研究者賞を設け、優秀な若手女性研究者の育成にいっそう力を入れることとしました。第 9 回となる今年度は、令和 6 年 6 月 3 日から令和 6 年 8 月 19 日に公募を行い、選考委員会において慎重に選考を行い、優秀女性研究者賞、優秀女性奨励賞受賞者および優秀次世代女性研究者賞を決定しました。

受賞者研究発表会および授与式は、令和 6 年 12 月 23 日、文教キャンパス文教スカイホールにおいて執り行いました。

〔対 象〕

優秀女性研究者賞および優秀女性奨励賞…本学において研究を行う本学所属の女性研究者で、かつ、男女共同参画を推進する活動に貢献してきた 50 歳以下の助教以上（教授除く）

優秀次世代女性研究者賞…本学の博士課程および博士後期課程の女性大学院生

〔顕 彰〕

優秀女性研究者賞、優秀女性奨励賞、優秀次世代女性研究者賞

〔受賞者〕

優秀女性研究者賞：松永妃都美 准教授（原爆後障害医療研究所）

優秀女性奨励賞：相原希美 助教（医歯薬学総合研究科（薬学系））

優秀次世代女性研究者賞：王奕寧さん（大学院 水産・環境科学総合研究科 博士後期 課程 3 年）

〔授与式・研究発表会〕

令和 6 年 12 月 23 日（月）11：00～12：15

文教キャンパス文教スカイホール

研究発表会は、3 人の受賞者からご発表頂きました。それぞれの発表は次の通りです。王奕寧さん「A Study on Island Ecotourism Development Models Based on System Dynamics: A Case Study of Amami-Oshima Island」、相原希美先生「免疫複合解析による病態関連タンパク質の同定」、松永妃都美先生「東京電力福島第一原子力発電所事故で被災した住民との放射線リスクコミュニケーションに資する研究」。研究発表後の質疑応答には、学長や理事からさまざまな質問が出され、今後の活躍への期待が述べられました。会場には大学生の参加があり発表者に応援のかけ声がされるなどして、和やかな会となりました。大学生たちにとっても、ロールモデルと出会う機会となったと言えます。

総評として永安学長からは、受賞者への祝辞とともに、受賞者が後輩を育成し、リーダーとして活躍していくことへの期待と、今後も大学として女性研究者をいっそう支援していくことが述べられました。また閉会の挨拶として、森口理事からも受賞者への祝辞と、世界基準での女性研究者の活躍をめざしていくことと、さらには質の高い研究を発展させていくためには研究における男女共同参画が不可欠であることが述べられました。

第九回 長崎大学 未来に羽ばたく女性研究者賞 受賞者研究発表会および授与式

この「長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞」は、優れた研究成果を挙げた長崎大学の若手女性研究者を顕彰することによって、研究意欲を高め、学術研究の将来を担う優秀な女性研究者の育成及び男女共同参画の促進を目的として創設されました。

日 時 令和6年12月23日(月)14:30～15:45
場 所 文教キャンパス 文教スカイホール

受賞者

- ☆優秀女性研究者賞 松永妃都美 准教授（原爆後障害医療研究所）
- ☆優秀女性奨励賞 相原希美 助教（医歯薬学総合研究科（薬学系））
- ☆優秀次世代女性研究者賞 王奕寧（大学院水産・環境科学総合研究科 博士後期課程3年）

次 第

1. 開式挨拶 門脇知子副学長／ダイバーシティ推進センター長
2. 受賞者研究発表
3. 授与式
4. 総評 永安武 学長
5. 閉式挨拶 森口勇 理事

【お問い合わせ先】長崎大学国際人国際大学ダイバーシティ推進センター
TEL: 095-819-2889(内線:3151)
MAIL: omoyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp



（左から門脇センター長、王奕寧さん、相原希美助教、永安武学長、松永妃都美准教授）